

# 平成 28 年度事業計画

(平成 28 年 4 月 1 日－平成 29 年 3 月 31 日)

## I. 定期学術集会・総会の開催

第 63 回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催する。

会 期 : 平成 28 年 5 月 18 日 (水) ～20 日 (金)  
会 場 : ミューザ川崎シンフォニーホール  
会 長 : 伊藤 守 (公益財団法人実験動物中央研究所)  
参加者 : 約 1,000 名を予定

## II. 通常総会、理事会、理事評議員懇談会の開催

通常総会 (1 回)、理事会 (3 回)、理事評議員懇談会 (1 回) を開催する。

## III. 定期刊行物の発行

機関誌「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」を下記のとおり発行し、  
会員に希望配布する。

発行年月日	巻	号	備考
平成 28 年 4 月 1 日	65	2	
平成 28 年 5 月 1 日	65	サブプレメント号 (電子配信)	
平成 28 年 7 月 1 日	65	3	
平成 28 年 10 月 1 日	65	4	
平成 29 年 1 月 1 日	66	1	

## IV. 研究の奨励、業績の表彰

(1) 名誉会員記を授与する。

高垣 善男 (元中外製薬)  
降 矢 強 (元国立医薬品食品衛生研究所)  
前島 一淑 (慶應義塾大学名誉教授)

(2) 日本実験動物学会特別表彰をする。

李 栄 純 (ソウル国立大学名誉教授、元韓国実験動物学会理事長)

(3) 第 28 回学会賞受賞者を表彰する。

1) 功労賞 (2 名)

須藤カツ子 会員 (東京医科大学)  
吉川 泰弘 会員 (千葉科学大学)

2) 安東・田嶋賞 (1 名)

小倉 淳郎 会員 (理化学研究所バイオリソースセンター)

「バイオリソースに資する発生工学技術の開発とその応用研究」

3) 奨励賞 (1名)

水野 聖哉 会員 (筑波大学生命科学動物資源センター)

「順・逆遺伝学的手法を駆使した変異マウスの異常形質原因遺伝子の解析」

4) 2015 年 Experimental Animals 最優秀論文賞 (1編)

本多 新、廣瀬美智子、山海 直、ヤスミン ルブナ、湯澤和明、本勝希実子、  
伊豆美奈、井口 純、伊川正人、小倉淳郎

Single-step generation of rabbits carrying a target allele of the tyrosinase  
gene using CRISPR/Cas 9

「CRISPR/Cas 9 を用いた簡便なウサギチロシナーゼ遺伝子の破壊」

(4) 2015 年日本実験動物学会国際賞の表彰を行う。

2015 年受賞者 (4名)

中国 : Yuanwu Ma

台湾 : Heng-Yi Chen

インドネシア : Devi Kartika

韓国 : Seonggon Kim

(5) 第 29 回日本実験動物学会功労賞、安東・田嶋賞ならびに奨励賞の推薦受付、選考を  
行う。

(6) 2016 年 Experimental Animals 最優秀論文賞の選考を行う。

(7) 2016 年日本実験動物学会国際賞の選考を行う。

(8) 第 66 回日本実験動物学会総会大会長を選出する。

## V. 委員会等の活動

下記の委員会および必要なワーキンググループを設置し、それぞれの目的に応じた活動  
を実施する。

- a. 編集委員会
- b. 学術集会委員会
- c. 財務特別委員会
- d. 国際交流委員会
- e. 広報・情報公開検討委員会
- f. 動物福祉・倫理委員会
- g. 定款・細則・規程等検討委員会
- h. 実験動物感染症対策委員会
- i. 教育研修委員会
- j. 実験動物管理者研修制度ワーキンググループ

- k. 将来検討ワーキンググループ
- l. 第三者評価検討ワーキンググループ
- m. 外部検証人材育成ワーキンググループ

## VI. 関連学協会等との連携

- (1) 日本学術会議、生物科学学会連合及び動物実験関係者連絡協議会の活動に協力する。
- (2) 国内の関連学会・協会との学術・情報交換を進め、その活動に協力する。
- (3) 国際実験動物科学会議 (ICLAS) 及びアジア実験動物学会連合 (AFLAS) における活動を継続する。
- (4) 米国実験動物学会 (AALAS) など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進する。
- (5) 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターおよび日本動物実験代替法評価センター(JaCVAM)の活動に協力する。

## VII. その他

- (1) 第 63 回日本実験動物学会総会期間中に委員会主催のシンポジウムおよびセミナーを開催する。(学術集会委員会、動物福祉・倫理委員会、実験動物感染症対策委員会、教育研修委員会)
- (2) 平成 28 年度維持会員懇談会を実施する。(財務特別委員会)
- (3) 第 5 回実験動物科学シンポジウムを開催する。(学術集会委員会)
- (4) 実験動物管理者等研修会を実施する。(実験動物管理者研修制度ワーキンググループ)
- (5) 外部検証の標準化のための人材育成に関する事業を実施する。(外部検証人材育成ワーキンググループ)
- (6) 動物実験に関する外部検証事業の実施に向けての準備を行う。(第三者評価検討ワーキンググループ)